

令和7年度機雷戦訓練(日向灘)及び 掃海特別訓練(日米共同訓練) 訓練計画の概要

令和7年度日向灘における護衛艦(FFM)による 運用試験(UUV等)の概要

防 衛 省

令和7年度機雷戦訓練（日向灘）及び掃海特別訓練

1 目的

- (1)海上自衛隊の機雷戦能力向上
- (2)米海軍との相互運用性の向上

2 訓練実施要望期間

令和7年11月12日(水)～27日(木)(海面補償期間:11月16日(日)～11月26日(水))

3 参加予定兵力

(1)海 自

掃海母艦×2隻、掃海艦艇×約15隻程度、潜水員約80名程度、
掃海ヘリコプター×2～3機程度

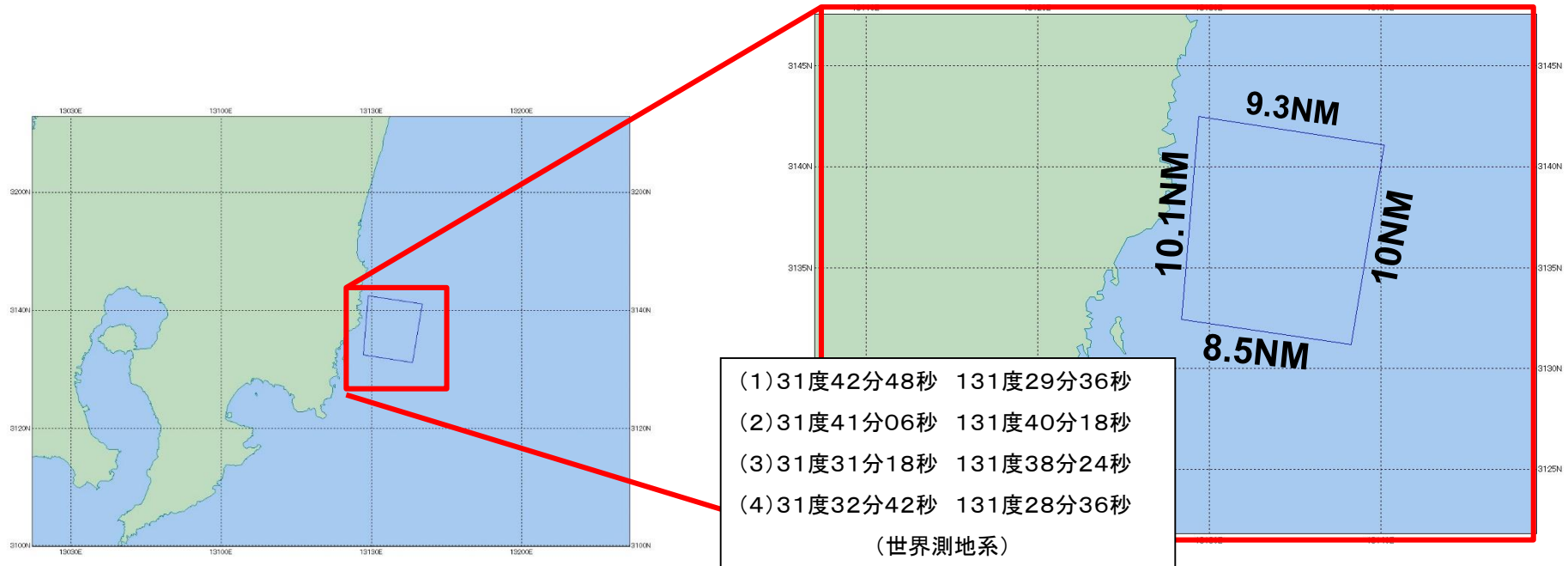
(2)米海軍

潜水員約20名程度、掃海ヘリコプター×2機程度

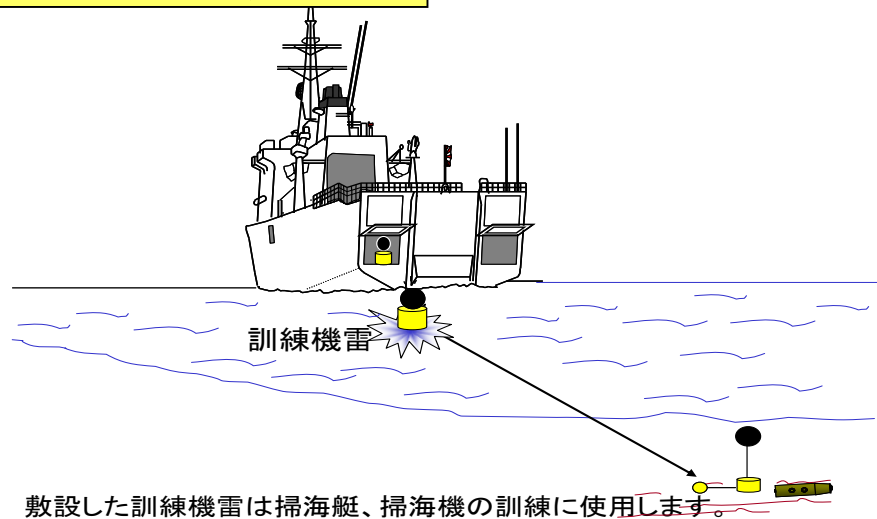
(3)オブザーバー参加

比(計4名)

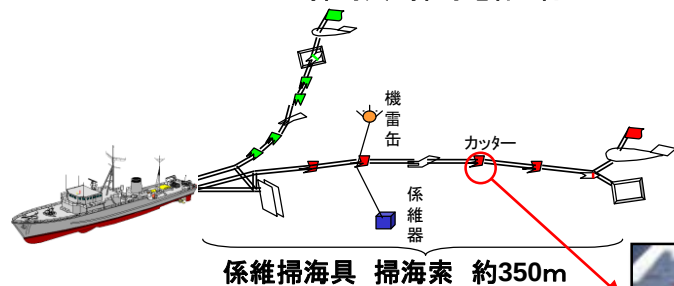
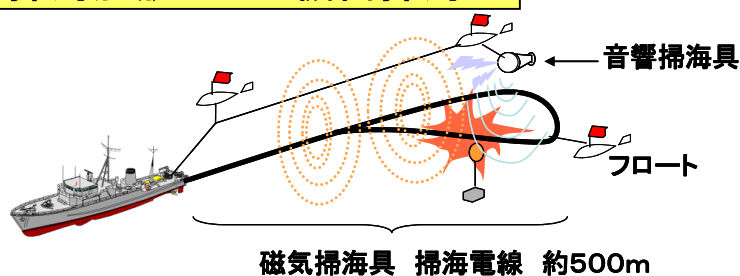
4 訓練海面(日南市沖区域)



1 訓練機雷敷設



2 掃海艦艇による機雷掃海



脱落防止のため係維掃海用カッターは装着しない予定



参考: カッター写真
(写真は左舷用)
※右舷用は緑色に塗装

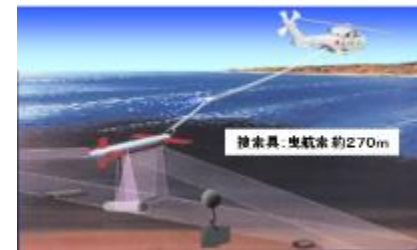
3 掃海艦艇による機雷掃討



4 航空機による機雷掃海



海自掃海ヘリコプター

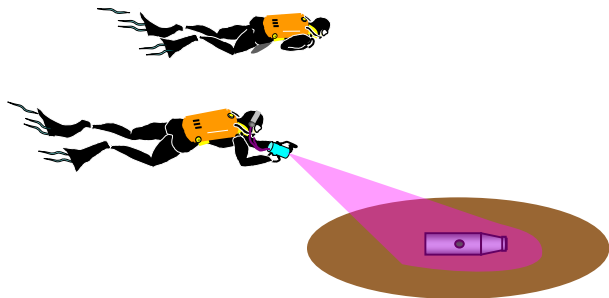


米海軍掃海ヘリコプター

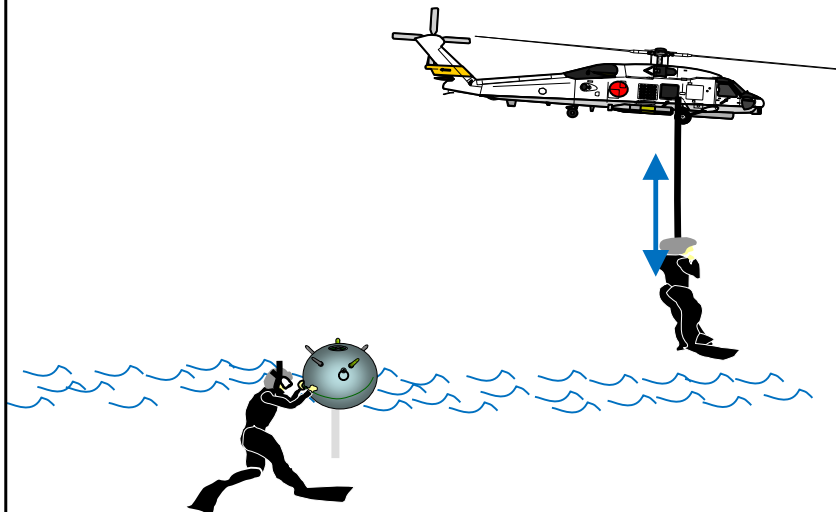


5 潜水員による機雷掃討

潜水員による機雷搜索・処分



ヘロ・キャスティング(H/C)(※1)による機雷処分



※1 ヘロ・キャスティング(H/C):ヘリコプターからロープを使って潜水員が降下、その後訓練機雷の場所まで泳いで移動、訓練機雷に爆薬を装着(想定)し、再度ロープを使用してヘリコプターへ戻る訓練です。

※2 本訓練では、火工品は使用しますが、爆薬は使用しません。

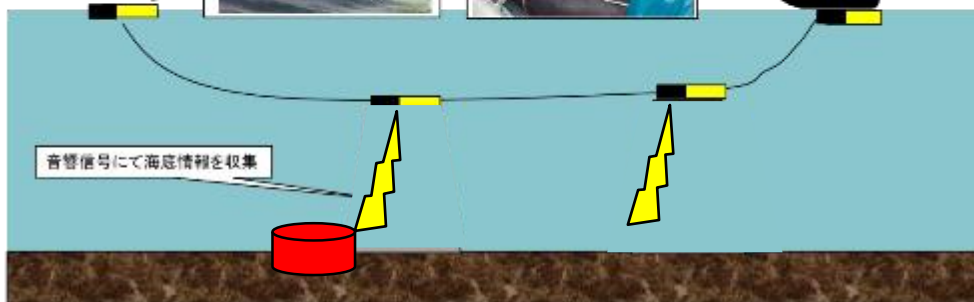
6 UUV操作訓練

1 規格

長さ:2.4m、重量:60kg、速力:2~4kt(ノット)



2 UUVの使用イメージ



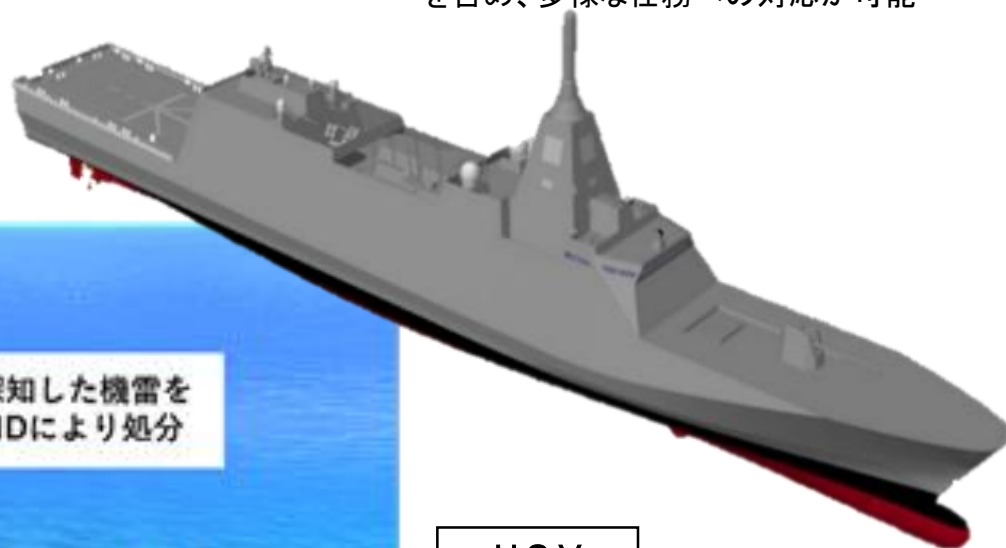
※3 ゴムボートからUUVを降ろし、事前に指定したコースを走らせて海底にある物体の有無について搜索した後、浮上してきたUUVをゴムボートで回収、回収後、UUVが収集したデータを解析する訓練を実施します。

令和7年度 日向灘における護衛艦(FFM)による運用試験(UUV等)

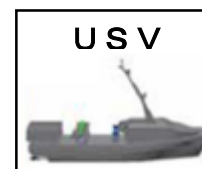
- 1 目的
無人機雷排除システムの能力の実証
- 2 運用試験要望期間
令和7年11月21日(金)～24日(月)
- 3 参加予定兵力
(1)海 自
護衛艦×1隻
- 4 訓練海面(日南市沖区域)

もがみ型護衛艦(FFM)

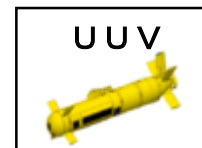
従来型の護衛艦が担っていた平時からの警戒監視、有事における各種戦闘に加え、従来は掃海艦艇が担っていた機雷の処理を含め、多様な任務への対応が可能



もがみ型護衛艦(FFM)



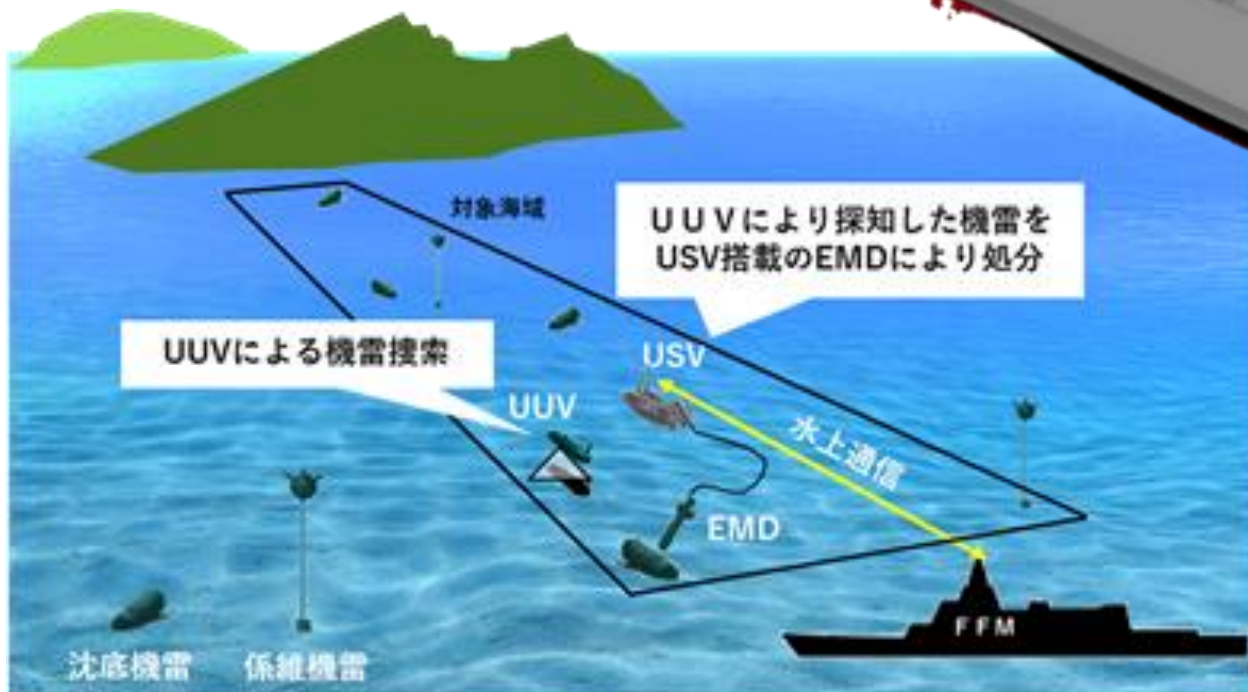
USV



UUV



EMD



※ 上記のイメージのように、FFMから無人潜水機(UUV)及び無人水上艇(USV)を展開し、FFMからの遠隔操作による機雷搜索(UUV、USV使用)及び機雷の処分(EMD(自走式機雷処分用弾薬(訓練用))を使用)を訓練します。

※ **USV**:Unmanned Surface Vehicle、**UUV**:Unmanned Underwater Vehicle、**EMD**:Expendable Mine Disposal (訓練用)

運用試験日程の概要

日程	11月																
	12 (水)	13 (木)	14 (金)	15 (土)	16 (日)	17 (月)	18 (火)	19 (水)	20 (木)	21 (金)	22 (土)	23 (日)	24 (月)	25 (火)	26 (水)	27 (木)	28 (金)
護衛艦 (FFM)	事前研究会、訓練準備、 安全管理関連指導										運用試験					事後研究会等	